

# 既存システムの改修で、データの連携を可能に

申請事業者：有限会社 四位農園（小林市）  
業 種：農業

従業員数：128名  
設 立：1965年



**システムの改修で、他システムからのデータ取込を実現し、自動印刷機能も追加！**

## 取組の概要

導入部門：全部門

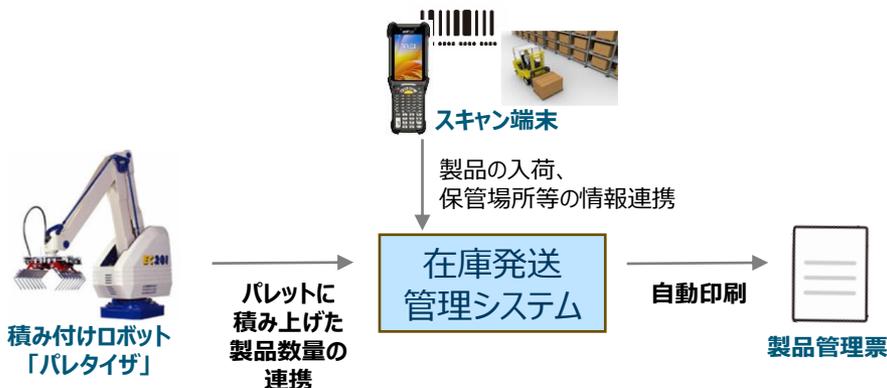
導入業務：在庫管理、発送業務

導入目的：全面改修および他システムとのデータ連携改善

導入技術：オリジナルWebアプリ「在庫発送管理システム」、PLC連携システム「パレタイザ連携システム」「MX Component」

導入手法：積み付けロボットの積み上げ数量を在庫発送管理システムに連携し、そのデータをもとに製品管理票を自動で印刷。

導入費用：¥5,000千円（税抜）



## 取組の背景

### ●抱えていた問題点

- ①在庫発送管理システムと他のシステムの間でデータの連携ができておらず、重複したデータを入力する必要があるため、無駄な時間とコストがかかっていた。
- ②特定のシステムで得たデータを他のシステムで活用できておらず、データを蓄積するだけの状態になっていた。

### ●解決に向けた課題設定等

- ①②在庫発送管理システムを改修し、他のシステムのデータを連携できる仕様に見直し。
- さらに、連携されたデータから管理票を自動印刷する機能も追加。

## 取組の成果

### ・積み付けロボットとのデータ連携にかかる時間を、80%削減

積み付けロボットの蓄積データをシステムに手入力する時間  
100時間/月 → 20時間/月

### ・出荷時の商品探索にかかる時間を、16%削減

庫内の商品を探す時間 80時間/月 → 67時間/月

### ・在庫発送管理システムの各処理にかかる時間を、18%削減

データベースへのアクセス時に発生する待機時間  
80時間/月 → 65時間/月